

シラバス

科目名	音楽Ⅲ	履修学年	3 学年（必修・選択）
教科担任	北 森 康 義	単位数	2 単位
教科書名	Joy of Music（教育芸術社）	副教材	Music Navigation（教育出版） （音楽史・楽典・ノート）
教科目標	芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。 (2) 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。 (3) 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。		
科目目標	音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す (1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性について理解するとともに、創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2) 音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができるようにする。 (3) 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。		
学習方法	音楽Ⅰ・Ⅱで学んだ内容を基礎とし、発展させた学習を行います。より高度な音楽的表現力をピアノなどの楽器演奏をつうじて身につけます。 <u>引き続き定期試験は行いません。单元ごとに筆記及び実技の試験を行います。</u>		

科目全体の評価の観点及び方法

評価の観点		主な評価方法
①知識・技能	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性について理解するとともに、創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。 （評価の割合 3.5 割）	b 授業態度 c 課題・プリント d 小テスト e その他（課題達成表）
②思考・判断・表現	音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができる。 （評価の割合 3 割）	b 授業態度 c 課題・プリント d 小テスト
③主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。 （評価の割合 3.5 割）	b 授業態度 c 課題・プリント

※評価方法【a 試験 b 授業態度 c 課題・プリント d 小テスト e その他】

特に重視する方法

年間学習計画

単元	器楽：ピアノ基礎～初めてのピアノ演奏 （予定時数 6 ）
主な学習内容（活動）	一人一台電子ピアノを使い、片手→両手での基礎練習をつうじて、鍵盤と楽譜の音の位置や正しい打鍵を習得します。また、右手（ト音記号）はもちろん、左手（ヘ音記号）の読譜も学びます。
評価の観点と評価方法	① ・様々な表現形態（ピアノ）による器楽表現の特徴について理解している。 ・表現形態（ピアノ）の特徴を生かして演奏する技能
	② ・リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。
	③ ・ピアノ演奏に関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。

単元	創作：伴奏作成～童謡に簡単な伴奏をつけよう！ （予定時数 4 ）
主な学習内容（活動）	音楽作成ソフト Flat を使って、簡単な和音進行について学び、童謡数作品の伴奏譜を作成します。
評価の観点と評価方法	① ・音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 ・創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復、変化などの手法を活用して音楽をつくる技能を身に付けている。
	② ・旋律、テクスチャ、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。
	③ ・昔から歌い継がれてきた童謡およびその伴奏作成に関心を持ち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組んでいる。

単 元	歌唱：弾き歌い～自作伴奏で弾き歌いをしてみよう！ (予定時数 6)
主な学習内容（活動）	上記の単元で学んだピアノの技術を用い、自作した童謡伴奏を演奏しつつ、それに合わせて歌います。
評価の観点と評価方法	① ・様々な表現形態（ピアノ弾き語り）による歌唱表現の特徴について理解している。 ・表現形態の特徴（ピアノ弾き語り）を生かして歌う技能を身につけている。
	② ・旋律、テクスチャ、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。
	③ ・自分で創作した伴奏に合わせて弾き歌いを行うという学習活動に関心を持ち、主体的・協働的に取り組もうとしている。

単 元	器楽・歌唱：弾き歌い～自分の好きな曲で弾き歌いにチャレンジ！ (予定時数 14)
主な学習内容（活動）	簡単な曲集から自分で演奏したい作品を選び、ピアノ・歌の練習を行い、発表します
評価の観点と評価方法	① ・様々な表現形態（ピアノ弾き語り）による演奏表現の特徴について理解している。 ・表現形態の特徴（ピアノ弾き語り）を生かして演奏する技能を身につけている。
	② ・旋律、テクスチャ、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって演奏表現を創意工夫している。
	③ ・自分が選んだ楽曲を弾き歌いするという学習活動に関心を持ち、主体的・協働的に取り組もうとしている。

単 元	器楽・歌唱・創作：演奏会企画実施 ～３年間の集大成として演奏会を立案、実施しよう！！ （予定時数 ３０）
主な学習内容（活動）	３年間、音楽の授業で学んだことを振り返りつつ、１・２年生に向けた演奏会を企画、実施します。曲選びから、司会進行、練習計画まで全て自分たちで行います。
評価の観点と評価方法	① ・様々な表現形態による演奏表現の特徴について理解している。 ・表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身につけている。
	② ・音楽の諸要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって演奏表現を創意工夫している。
	③ ・自分たちで演奏会を企画・立案し、開催するという学習活動に関心を持ち、主体的・協働的に取り組もうとしている。